

教育課程の編成に関する調査

筑波大学附属駒場中・高校
教育課程研究プロジェクト

深 野 明

改訂学習指導要領と本校の教育課程編成 主に高校を中心として

教師対象に、学習指導要領の改訂にあたり、教育課程作成のための資料としてアンケートを行った。

教員 44名 回収率 91%

- 1) 基準の改善点について、本校の生徒に欠けている点、又は教育課程の中で重点的に指導を必要とするのは次のどれですか。(※該当の番号を○で囲んで下さい。いくつ○をつけても可)

	N	%		N	%
自から考える力	16	40.0	人間愛	16	40.0
創造的な知性と技能	12	30.0	正しい勤労観	21	52.5
強じんな意志力	12	30.0	実践的・社会的 (社会連帯意識・奉仕の 精神に基づく)	29	72.5
自律心	14	35.0	身体の鍛練	21	52.5
自然愛	9	22.5	家族愛、郷土愛、祖国愛	7	17.5

- 2) 基準の改善点について、「ゆとり」があります。本来は、生徒が心身ともに安定した状況のもとで充実した学習が行われるようにするため、にというねらいがあるそうです。本校においては、「ゆとり」をどのようにしたらよいとお考えですか。(※該当の番号を○で囲んで下さい。いくつ○をつけても可)

1. 各教科は内容の精選を行い、教科外では行事の内容の精選を行ってゆとりを与え、じっくりと基礎的・基本的事項に習熟させ、教科、教科外のすべてにわたって生徒に学習の喜びを体得させる。
2. 中・高の関連を一層強化し、学習指導要領にとらわれることなく、本校の生徒に合致した各教科の学習内容を作成し、高学年において多様な選択履修ができるようにし、生徒が自から学習しようとする意欲を助成する。
3. 授業時数を週当たり32時間とし、生徒のクラブ活動等を充実させ、生徒に自から考えて行動する力、身体の鍛練等を培かうようにさせる。
4. 教師の専門性を生かしながら、生徒の特性をさらに伸展させるゼミ的な活動をつくり、生徒に将来の進路や教育相談が受けられるようにする。
5. 授業時数や修得単位数を最小限にして、生徒自身による学習希望科目を生かすようなカリキュラムを組み生徒に意欲的・積極的学習を行わせる。

1		2		3		4		5		無回答	
N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
13	32.5	19	47.5	11	27.5	14	35.0	14	35.0	1	2.5

3) 本校は内・外に中・高6か年教育を打ち出していますが、改訂学習指導要領にも各教科・科目等の内容の改善にその重点項目として一貫性が述べられています。教科の立場から、学級担任・部活動顧問等教科外の立場から次の①～⑤の重点事項について図られているのか、図られるべきなのか、図る必要はないのか、1～5の中から1つ選んで該当番号に○をつけて下さい。

① 中・高の教育を一貫的にみることが図られていますか。

	教 科		教 科 外	
1 特に意識して図るべきである	6人	15.0%	7人	17.5%
2 意識して図っている	8	20.0	3	7.5
3 図っている	12	30.0	7	17.5
4 図っているのもある	10	25.0	12	30.0
5 図っていない	2	5.0	7	17.5
無 答	2	5.0	4	10.0

② 各教科・科目については、生徒の学習負担の適正化に特に配慮しながら、各学年段階において確実に身につけさせるべき基礎的・基本的な内容に精選が図られていますか。

	教 科	
1 特に意識して図るべきである。	5人	12.5%
2 意識して図っている。	7	17.5
3 図っている	13	32.5
4 図っているのもある	13	32.5
5 図っていない	0	0
無 答	2	5.0

③ 道徳教育について、今回は重点事項のひとつとして取り上げられています。すなわち、道徳教育の重要性がより明確になるように配慮する、とありますが、この点について図るべきですか。

	教 科		教 科 外	
1 特に意識して図るべきである	5人	12.5%	9人	22.5%
2 意識して図っている	2	5.0	1	2.5
3 図っている	7	17.5	8	20.0
4 図っているのもある	10	25.0	8	20.0
5 図っていない	10	25.0	7	17.5
無 答	6	15.0	7	17.5

- ④ 各教科以外の教育活動については、生徒の人格形成上重要な役割を果たすので、特に、各教科の授業時数の削減により生じた時間の活用なども考慮しながら、その一層の充実を図ることが必要である。この場合、これらの活動と関連の深いいわゆる部活動についてもその充実に努めるように配慮する。とありますが、この点について

	教 科 外		部 活 動	
	人	%	人	%
1 特に意識して図るべきである。	17	42.5%	16	40.0%
2 意識して図っている	3	7.5	2	5.0
3 図っている。	9	22.5	10	25.0
4 図っているときもある	5	12.5	6	15.0
5 図る必要はない	2	5.0	4	10.0
無 答	4	10.0	2	5.0

- ⑤ 勤労にかかわる体験的学習も重点事項になっています。この点については、各教科外の教育活動においてもその果たす役割が重要であるという観点に立ってその充実を図るようにする、とあります。この点について

	教 科		教 科 外	
	人	%	人	%
1 特に意識して図るべきである	8	20.0%	13	32.5%
2 意識して図っている	2	5.0	5	12.5
3 図っている	6	15.0	7	17.5
4 図っているときもある	10	25.0	8	20.0
5 図る必要はない	7	17.5	3	7.5
無 答	7	17.5	5	12.5

- 4) 小・中・高の一貫教育ということを予想して、高等学校の学習指導要領は必修教科として全員に履修させるものの多くは、中学校教育との接続を容易にしようとするねらいから、義務教育の教育内容の延長が高校一年に及んでいるように思えます。必修教科・科目の国語、社会、理科、体育及び保健、芸術は、普通科高校の男子校では32単位（特別活動のホームルーム、クラブ活動の必修2単位を加えると34単位）となります。卒業に必要な教科・科目の最少修得単位数の合計は80単位となります。これらについて次の点についてお聞きします。

① 最小修得単位数として次の1～5までのうちのどれを目安にしていきたいと考えていますか。

85単位	4人	10.0%
84 "	0	0
82 "	1	2.5
80 "	27	67.5
80未満	4	10.0
無答	4	10.0

② 高2・高3では選択科目が多くなりますが、この点について、コースがいろいろ考えられます。

1. 中1・中2で基礎学力をつけさせ、中3・高1から各生徒の特性を伸ばしていくべきである。
2. 中3までに基礎的学力と高1の学習内容のある程度の項目を下し、高1から文系・理系のコースをつくり、生徒の特性を伸ばしていくべきである。
3. 中1から高1までは分けなくて、高2から文系1組、文理混合2組、理系1組というようにコースをつくる。
4. 中1から高3まで（特に高校では必修教科・改目は32単位とし）最少修得単位数とし、後は生徒に自由に取らせるべきである。
5. 中1から高3まで科目は同じものを学習させ、文系・理系で学習内容にちがいを持たせるべきである。

1	3人	7.5%
2	7	17.5
3	15	37.5
4	11	27.5
5	1	2.5
無答	3	7.5

③ 必修と学校必修それに選択の過当たりの置き方について、

1. 従来のように、実験教室の関係があるから現行でよい。
2. 主に午前中は講義中心の教科を、午後は実験・実技教科を配置するのがよい。
3. 選択科目や時間講師の持つ科目を午前中に置き、その間に必修科目や選択科目（専任）を入れるのがよい。
4. 必修と学校必修を午前中に置き、選択科目を午後に置くのがよい。
5. 教育研究や教科研究を優先的に置き、研究対象以外の科目をその後で置くのがよい。

1	11人	27.5%
2	9	22.5
3	1	2.5
4	16	40.0
5	2	5.0
無	1	2.5

5) ホームルームにおける改善点は次の5項目といわれています。本校において重点的に指導するのはどれですか。該当の番号を○で囲んで下さい。(学級活動を通しての指導面でお考えの場合もこの項目でお答え下さい。)

1. 生徒指導の充実強化とホームルームの果たす役割の明確化。 2. ホームルームにおける計画的、組織的な進路指導の充実強化。 3. 望ましい勤労観や職業観の育成の重視。 4. 道徳教育の充実。
5. 学校の創意による活動の展開の重視。

1	25人	62.5%
2	2	5.0
3	1	2.5
4	1	2.5
5	10	25.0
無	1	2.5

6) 2の「ゆとりの時間」について、再度お伺いします。週当たり授業時数(全日制の課程)は32単位時間を標準とすること、となっていますが、この工夫について次の方法のどれがよいか該当する番号に1つ○をつけて下さい。

1. 週単位で計画する場合、2単位時間のゆとりがある。ある曜日の2時間続きをとるのがよい。
2. 1の場合、ある曜日に1単位分とある曜日に1単位分を分けてとるのがよい。
3. 2週単位で計画する場合、隔週土曜日の丸一日を空けることができる。
4. 3週単位で計画する場合、ウィークデーの一日を空けることができる。
5. 6週単位で計画する場合、ウィークデーの二日を空けることができる。

1	16人	40.0%
2	0	0
3	17	42.5
4	2	5.0
5	1	2.5
無	4	10.0

7) 今回のアンケートは学習指導要領の中でお聞きしましたが、この他に学校の運営上からみた教育課程の問題、教育課程をより効果的なものにするための学校環境諸条件の問題があれば下の空欄にご記入下さい。

1. 教科について

- ・高校では選択の幅をひろげたい。(国語)。
- ・選択科目の時間数を少なくし、一科目の単位数を標準単位以上とし学習の充実を図る(社会)。
- ・学校必修はないようにしたい。ゆとりは6か年一貫とし、基礎力の充実(中1・2)、経験拡充(中3、高1)、統合体験、創造力養成(高2、高3)、中1・中2では0時間、中3・高1に計画的に入れ、高2・3では自主的に用いさせる。(数学)
- ・適当に授業時数を30時間としたい。(数学)。
- ・ゆとりの時間をL、Lを用いて活用していきたい。(英語)

2. 施設等について

印刷機、複写機の増設と年間使用費の経常を十分にとる。

大講堂(1,000人以上収容)の増築、小講堂(170人位収容)の増設、これによりテレビ、ピアノの常備と併せて、有識者の講話、音楽・美術・演劇に気軽に親しめることができる。

L、L装置の更新による、設備の拡充が必要である。

トレーニング室の整備拡充

3. 管理等について

教員会開催時には部活動等は禁止する。

民主主義的な運営を規則等によって保障することが必要である。

生徒はどのような生徒をとって、どのように教育しているかが問われてない。

4. 教科外について

道徳教育を含めて教科外の活動について教官の認識と、実践活動を特に期待したい。

S、H、Rを毎日行って生徒の動向を適確につかむべきである。出席の点検を厳格にしていきたい。

礼儀・服装・集団行動等、学校内における生活規律の指導を厳しくする。

以上のことから、調査結果を参考にして、学年別、教科(科目)別、時間配当を考えていきたいものである。